

# NIC

# TOPICS

JANUARY  
2024

- innovation
- project
- happy work place
- collaboration
- solution
- open laboratory
- sustainable
- prototyping
- playful
- coworking
- network
- fail fast
- efficiency
- serendipity
- creating shared value
- diversity
- exciting
- heart to heart

6<sup>th</sup>  
anniversary



スカルプケアのイメージを変える「DEMI DO」

## 専門研究を重ねた集大成 「DEMI DO」新発売

デミ コスメティクス設立から42年、真剣に地肌と髪に向き合った全ての知識・技術を結集し開発したスカルプケアブランド。この商品には共同開発の成果も反映されています。NIC設計者の小堀哲夫氏から紹介の理化学研究所・辻孝先生にはNICガーデンレクチャーの講師として登壇いただき、その時の研究員との技術交流から共同研究がスタート。ヘアサイクルの地道な研究を重ね、スカルプケアに有効な新成分を発見しました。また名古屋大学大学院との共同研究で得られた知見なども活かされています。各研究機関と共同研究、商品開発を実施したり、髪の特化美容師とも深く連携したりと、さまざまなコラボレーションで次のイノベーションにつなげています。



開発メンバーの小竹さん、佐々木さん

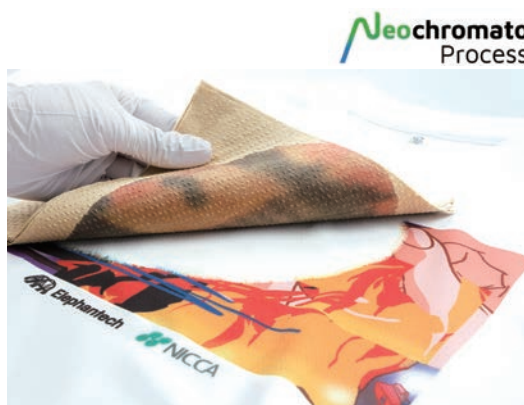


男性特有の悩みに「DEMI DO MEN」

## 「ネオクロマト加工」の応用と展開

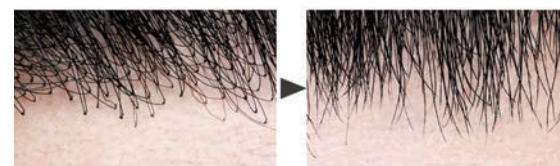


北陸技術交流テクノフェア2023での参考展示



ネオクロマト加工 (イメージ)  
[https://youtu.be/GUcVJU\\_L-AM](https://youtu.be/GUcVJU_L-AM)

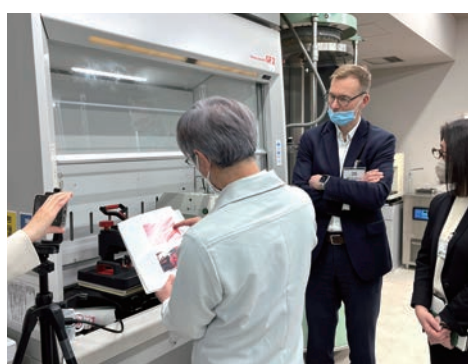
自発的な部外活動MO-SOミーティングがきっかけで生まれた、水を使わないポリエステル繊維の脱色技術「ネオクロマト加工」。昨年4月の発表後、複数のプロジェクトが始まりました。最初に実用化にたどり着いたのは、少し意外な男性用ウィッグへの応用。アートネイチャーとのコラボレーションでは、不自然に見える生え際がごく自然になったレクアファントムという新製品の発売につながりました。イタリア・ミラノで6月に開催のITMA2023 (国際繊維機械展示会) では、ミマキエンジニアリングがポリエステル生地への脱色装置の開発に関する技術発表を行い、注目を集めています。



根元部分の髪色を地肌にとけこませる新技術に展開

## NICは次の技術につなげる場 ～知恵と技術をグローバルに交換するバザール～

2023年は新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、さまざまな規制が緩和された1年でした。これからもNICは、新しい価値やサービスを創造できる場として、多様な視点や知識を持つ人々との出会いを続けていきます。



スウェーデン大使館の仲介で、スウェーデン国立研究所の各拠点のエキスパートとオンライン中継で協議。



クラブハウステン社長はじめ技術系トップ管理職23名の皆様が来社。見学後、技術懇談会が行われました。



駐日インド特命全権大使シビ・ジョージ氏が来社。



空調・衛生学会の見学ツアーで40名が来社。NICの空調設計や運用について熱心な質疑応答がありました。



## 産総研・ものづくりセンター + 東京大学 人間拡張講座ゼミ



北陸デジタルものづくりセンター(提供:産総研)

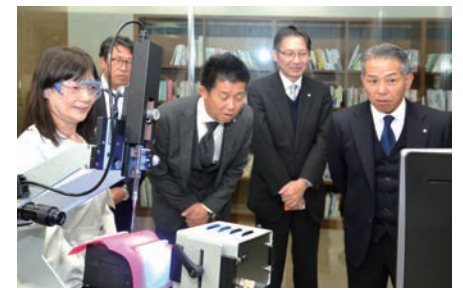
2023年5月に産業技術総合研究所(産総研)の「北陸デジタルものづくりセンター」が福井に開設されました。産総研と連携している東京大学大学院の人間拡張講座は、デジタル技術研究で密接な関係があり、同ゼミのご一行が9月に訪問した際に、NICに立ち寄っていただきました。双方の研究内容を紹介して、活発な情報交換の場となりました。重視している「エンジニアリングサービス」というキーワードは共通しています。つながりを通して、繊維加工や分析技術に関する新拠点との連携を進めています。

## オープンラボの軌跡

NICの3階のライブラリースペースにある「オープンラボ」は、技術を観てもらう場として、またパートナーとのコラボレーションの場として広く活用されています。フッ素フリー系の撥水剤の評価を顧客と一緒に実施する、繊維の脱色試験の共同開発を行うなど、外からの知見やアドバイスを取り入れたプロトタイプ活動が、実績にもつながっています。



エステー株式会社の皆さまが視察中



## 資源循環への取り組み

サーキュラーシティ 蒲郡に参加



繊維製品事例集

サーキュラーシティを目指すことを表明した蒲郡市(愛知県)が11月に開催したイベントで、当社はメインでワークショップを担当。パネルディスカッションでは、衣料の廃棄や水資源の汚染に関する問題とその対策について共有しました。その後、参加者には実際にネオクロマト加工で、蒲郡市の未来をイメージしたイラストTシャツに仕上げるアップサイクルを体験いただきました。経済産業省では2023年4月に「繊維製品の環境配慮設計に関する事例集」を発行。繊維産業に従事する事業者に対して、衣類の環境配慮に取り組むための事例研究としてまとめられました。当社の「フッ素フリー系撥水剤ネオシード」「ネオクロマト加工」が紹介されています。



(経産省公式サイト)

## NICガーデンレクチャー

社員向け勉強会「NICガーデンレクチャー」では、イノベーションと職場風土に関する2つの講演を開催しました。



### イノベーションプロセスの概要 40年間の企業生活で学んだ事

○三井化学株式会社 社長補佐  
新事業開発センター担当 表 利彦氏

表氏が40年間の企業生活の中で経験した具体的な事例をもとに、イノベーションが生まれて事業になるまでのプロセスや、イノベーションを興す企業文化や組織体制について教えていただきました。



### 再考・再耕 | 私たちの職場

○株式会社 職場風土づくり  
代表 中村 英泰氏

社内図書にあった中村氏の書籍をきっかけに本講演会を開催。これまで当たり前にしてきた「職場」にスポットを当て、「職場とは何か?」「イノベーションが起こりやすい職場風土とはどのようなものか?」を考える時間になりました。

## 出張授業の実施による社会貢献活動

2023年、NICには校外学習として福井県内の小学校から大学まで、のべ14校、約300名が来社。また、福井県内の学校に、出張授業を行いました。



福井大学大学院 工学研究科の「繊維産業工学」を受講する学生を対象としたこの講義は福井県内の繊維に関連する企業3社が共同で毎年実施しており、当社は「界面コロイド化学・繊維加工薬剤・グローバル展開・環境対応・イノベーションに関する教育」を担当しています。最終回の講義は当社で実施しNICや創業記念館なども見学。特に繊維に関する商品開発の研究室は皆さん興味深く見学していただきました。

研究棟を見学する福井大学大学院の学生さんたち



藤島中学校の全校生徒1~3年生約350名を対象に「キャリア教育授業」を全3回シリーズで実施しています。中学での学びや体験は社会人の基礎作りに繋がるということを伝えるため、ただ一方的に話をするのはなく、生徒同士で会話をする時間をとる等、各テーマに対し生徒が考えながら講義を聞くことができるよう工夫しています。講義を通し、1人でも多くの意識や行動が変わることを期待しています。

キャリア教育出張授業(藤島中学校)

## NIC アートギャラリー

NICに訪れるお客様や社員に新鮮な驚きと好奇心の種を毎回提供するギャラリー。

2023年は、国内外で使われ続けるガラスの企画展「暮らしとデザイン/器」、造形作家でイラストレーターのおまりさん(勝山市在住)のオブジェと挿絵や、パリ在住の画家、五百崎智子さん(福井市出身)による故郷・福井の思い出やパリでの暮らし、夫のミッシェル・ジョンさんによる「色の象徴的な表現」と題した作品を展示しました。



ロングライフデザインの証、世界の名作ガラス



おまりさんの越前和紙を使った動物粘土細工とイラスト作品



パリの日常にある美しいと感じた五百崎さんの作品



パリの空気感を感じるミッシェルさんの作品

## Editor's note



○NICバーチャルツアーご紹介  
NICCAイノベーションセンター内をドローンで撮影した、バーチャルツアー動画を公開しました。まるでNIC内を飛んでいるかのような視点でご体感いただける、リアルな映像をぜひお楽しみください。

日華化学株式会社

910-8670 福井県福井市文京 4-23-1 TEL.0776-24-0213(代)  
NICCA / www.nicca.co.jp NIC / nic.niccachemical.com

